

長久手市行政評価票

事業番号	26	事業の名称	防災訓練実施事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全

事業の概要	市民1人1人が防災意識を高めるとともに、関係機関等の連携を確認し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑えることを目的とする。 市民に防災意識を高めていただくため、企画段階から市民や防災関係機関等に関わっていただき、市内一斉に避難訓練や避難所運営訓練を市民参加型で行う。また市役所は災害対策本部を立ち上げるとともに、会場となる避難所との情報伝達訓練などを行い、市民、関係機関、行政が連携した訓練とする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、東郷町で同様の訓練を実施。尾張旭市では、自主防災組織に救助救出訓練に参加していただいたり、消防・警察・自衛隊などが連携して事前に訓練内容を知らせずに行うブラインド訓練を実施している。日進市では、地区の訓練を持ち回りで実施している。 また、みよし市では1つの中学校区で市主導の総合防災訓練を行うほか、その他の地区では自主防災会が中心となり個別に自主的な防災訓練を実施している。 岡崎市では、過去の災害の教訓から、全市一斉の防災訓練を行い、全ての避難所を開設し、市民は避難訓練や避難所運営訓練を実施している。							
	事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体				うち	一般財源		594	512	935	856	848	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民や各種団体、市職員それぞれの立場で防災意識を高め、災害時に応急対応を行うことができるようにする。					国費・県費		594	512	935	856	848	
						地方債							
						その他							
						受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			H25実績			H25予算	H25決算			
① 市内一斉防災訓練実施事業	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体	 防災会議で方針決定後、各小学校区で地域住民が訓練内容を検討して				参加者 3,327人	訓練参加者数	850 3,327 1,750	人	長小校区200人 東小校区150人 西小校区400人 南小校区400人 北小校区300人 市が洞小校区300人	594 935 848	512 856	防災訓練に使用する啓発品 440千円 防災訓練に使用する事務用品 174千円 訓練災害補償掛金 52千円	A 拡充 増加	初めて実施した、市内一斉の防災訓練であったが、予想を超える3,327人の参加があった。参加者からの改善・要望などを、十分に検証して今後の防災訓練などに反映させていきたい。
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要